



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月3日

上場会社名 米久株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2290 URL <http://www.yonekyu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 青柳 敏文 TEL 055(929)2797
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	69,162	△1.2	137	—	74	—	△158	—
25年2月期第2四半期	70,008	2.8	△250	—	△320	—	△401	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 584百万円 (—%) 25年2月期第2四半期 △445百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	△6.25	—
25年2月期第2四半期	△15.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	62,479	36,178	57.8	1,423.97
25年2月期	61,146	36,050	58.9	1,418.86

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 36,124百万円 25年2月期 35,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	18.00	18.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	5.4	2,050	322.8	2,000	520.4	700	—	27.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）第1四半期決算より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	28,809,701株	25年2月期	28,809,701株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	3,440,883株	25年2月期	3,440,675株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	25,368,885株	25年2月期2Q	25,867,791株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料に記載した予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀の経済金融政策などによる円安や株価上昇、輸出関連産業を中心とした企業収益の改善など、景気回復に向け、明るい兆しが現れてきました。しかしながら、消費税増税による消費減退の可能性や貿易協定交渉の行方などについては、今後もその影響を注視していく必要があるものと認識しております。

食肉加工品業界におきましては、食肉相場が豚肉・牛肉・鶏肉の全てにおいて前年同期を上回る水準で推移し、収益改善に貢献したものの、輸入原材料価格や電気料金の上昇が収益の圧迫要因となりました。また、消費者の節約志向は依然として強く、経営環境は楽観視できない状況が続いております。

このようななか、当社グループは、「販売チャネルの拡大」「コンシューマ商品の増強」「デリカ商品の強化」「経営管理体制の強化」の4つの戦略に引き続き取り組みました。

具体的な施策として、まず、3月に冷凍食品の販売強化を目的に「冷食事業部」を新設、また、コンビニエンスストアへの販売拡大に向け「CVSユニット」を独立組織とし、営業力を強化いたしました。次に、国産鶏肉の生産数量拡大に向けて、4月に米久おいしい鶏糶が鳥取県に鶏舎を増設し、さらに、静岡県のカ2カ所の農場も譲り受けました。一方、7月には富士山の世界文化遺産登録を記念して特別デザイン商品を発売し、また、物流面の効率化も図り、経費削減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、691億62百万円（前年同期は700億8百万円）となりましたが、利益につきましては、輸入原材料コストの上昇分を、採算改善を重視した営業活動や経費削減などでカバーし、営業利益は1億37百万円（前年同期は2億50百万円の損失）、経常利益は74百万円（前年同期は3億20百万円の損失）とそれぞれ改善いたしました。また、四半期純利益は不採算事業の整理に関連し特別損失を計上したことにより、1億58百万円の損失（前年同期は4億1百万円の損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<加工品事業>

ハム等は、ロースハムの売上が減少したものの、ベーコン・ローストビーフが好調に推移した結果、全体の売上高は増加いたしました。

ソーセージは、国産コンシューマ商品の「御殿場高原あらびきポーク」や「あらびきフランク」が着実に増加いたしました。また、米国会社製品の輸入販売も好調に推移したことから、全体の売上高は増加いたしました。

デリカは、外食やコンビニエンスストア向けの業務用商品の販売が好調に推移した一方、一部商品の売上減少により、全体の売上高は前年並みとなりました。

以上の結果、加工品事業は、売上高が292億7百万円（前年同期は282億4百万円）となり、営業利益は2億68百万円（前年同期は1億35百万円）と増加いたしました。

<食肉事業>

採算改善を重視した営業活動などを進めた結果、売上が減少いたしました。食肉相場の全般的な回復も追い風に、収益性は改善いたしました。

豚肉は、子会社の大洋ポーク(株)の「瀬戸内六穀豚」など、ブランド品の販売が増加したものの、国産豚肉全体の売上は減少いたしました。また、輸入品も調達価格の高騰により売上が減少した結果、全体の売上高は減少いたしました。

牛肉は、長期に亘る相場低迷からの復調と国産ブランド「岩手めんこい黒牛」の拡販などにより、国産品の売上は増加いたしました。一方、輸入品は、円安による調達価格の上昇の影響を受け、販売が低調に推移いたしました。その結果、全体の売上高は減少いたしました。

鶏肉は、食肉相場の回復に伴い、国産品の売上は増加いたしました。輸入品の売上減少が響き、全体の売上高は減少いたしました。

以上の結果、食肉事業は、売上高が389億2百万円（前年同期は402億31百万円）と減少したものの、国産食肉相場の回復などにより、営業利益は1億40百万円の損失（前年同期は3億80百万円の損失）と改善いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、前連結会計年度末に比べ13億32百万円増加(2.2%増)して624億79百万円となりました。これはたな卸資産や有形固定資産が増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計額は、前連結会計年度末に比べ12億5百万円増加(4.8%増)して263億円となりました。これは買掛金が増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末に比べ1億27百万円増加(0.4%増)して361億78百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加した一方、配当金の支払などに伴い利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ41億41百万円減少し、60億12百万円となりました。

活動ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は14億31百万円の支出(前年同期は6億35百万円の収入)となりました。これは当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であったため、売上債権の決済が第3四半期連結会計期間となったことや、仕入債務が増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は21億49百万円の支出(前年同期は13億32百万円の支出)となりました。これは有形及び無形固定資産の取得や貸付けの支出などによるものであります。

以上の結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリー・キャッシュ・フローは35億80百万円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は6億26百万円の支出(前年同期は16億59百万円の支出)となりました。これは配当金の支払などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月11日に公表した連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,266	6,117
受取手形及び売掛金	14,461	18,170
商品及び製品	4,609	4,998
仕掛品	836	996
原材料及び貯蔵品	2,173	2,296
その他	1,856	1,428
貸倒引当金	△3	△6
流動資産合計	34,200	34,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,166	8,539
土地	8,310	8,431
その他(純額)	3,175	3,382
有形固定資産合計	19,653	20,354
無形固定資産		
のれん	904	864
その他	664	615
無形固定資産合計	1,568	1,479
投資その他の資産		
その他	5,761	6,678
貸倒引当金	△37	△33
投資その他の資産合計	5,723	6,644
固定資産合計	26,945	28,477
資産合計	61,146	62,479
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,750	18,901
短期借入金	456	452
未払法人税等	249	295
引当金	560	601
その他	3,912	4,093
流動負債合計	22,928	24,344
固定負債		
長期借入金	375	225
退職給付引当金	450	469
その他の引当金	132	81
その他	1,208	1,179
固定負債合計	2,166	1,956
負債合計	25,095	26,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,634	8,634
資本剰余金	8,375	8,375
利益剰余金	21,276	20,661
自己株式	△2,737	△2,738
株主資本合計	35,548	34,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	449
繰延ヘッジ損益	257	206
為替換算調整勘定	△129	535
その他の包括利益累計額合計	446	1,191
少数株主持分	55	54
純資産合計	36,050	36,178
負債純資産合計	61,146	62,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	70,008	69,162
売上原価	60,703	60,159
売上総利益	9,305	9,003
販売費及び一般管理費	9,556	8,865
営業利益又は営業損失(△)	△250	137
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	7	8
賃貸不動産収入	45	48
受取補償金	—	54
その他	136	124
営業外収益合計	190	236
営業外費用		
支払利息	9	8
賃貸不動産費用	56	45
持分法による投資損失	166	225
その他	27	20
営業外費用合計	260	299
経常利益又は経常損失(△)	△320	74
特別利益		
補助金収入	15	15
特別利益合計	15	15
特別損失		
固定資産除却損	14	102
固定資産売却損	—	15
厚生年金基金特別掛金	—	12
製品回収関連費用	58	—
特別損失合計	73	131
税金等調整前四半期純損失(△)	△377	△40
法人税、住民税及び事業税	260	256
法人税等調整額	△233	△136
法人税等合計	26	119
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△404	△160
少数株主損失(△)	△2	△1
四半期純損失(△)	△401	△158

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△404	△160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	130
繰延ヘッジ損益	△41	△50
為替換算調整勘定	11	107
持分法適用会社に対する持分相当額	—	558
その他の包括利益合計	△41	744
四半期包括利益	△445	584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△442	586
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△377	△40
減価償却費	1,111	1,009
のれん償却額	88	92
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△1
受取利息及び受取配当金	△8	△9
受取保険金	△35	△22
補助金収入	△15	△15
受取補償金	—	△54
支払利息	9	8
持分法による投資損益(△は益)	166	225
有形及び無形固定資産除却損	14	102
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△292	△3,687
たな卸資産の増減額(△は増加)	452	△665
仕入債務の増減額(△は減少)	△443	1,159
未払消費税等の増減額(△は減少)	△79	△120
その他	612	498
小計	1,197	△1,522
利息及び配当金の受取額	41	9
保険金の受取額	51	95
補助金の受取額	15	153
補償金の受取額	—	54
利息の支払額	△11	△9
製品回収関連費用の支払額	△58	—
法人税等の支払額	△602	△212
営業活動によるキャッシュ・フロー	635	△1,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△955	△1,714
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	21
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
投資有価証券の売却による収入	29	12
子会社の自己株式の取得による支出	△2	—
貸付けによる支出	△780	△280
貸付金の回収による収入	380	0
その他	8	△176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,332	△2,149

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	—
長期借入金の返済による支出	△154	△154
自己株式の取得による支出	△1,000	△0
配当金の支払額	△476	△454
その他	△8	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,659	△626
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	65
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,347	△4,141
現金及び現金同等物の期首残高	10,981	10,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,633	6,012

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,204	40,231	68,436	1,572	70,008	—	70,008
セグメント間の内部売上高又は振替高	77	6,641	6,719	98	6,817	△6,817	—
計	28,282	46,873	75,155	1,670	76,826	△6,817	70,008
セグメント利益又は損失(△)	135	△380	△244	△6	△250	—	△250

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及びその他の事業(飲料の製造販売、菓子等の製造販売)を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,207	38,902	68,109	1,053	69,162	—	69,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	59	6,875	6,934	—	6,934	△6,934	—
計	29,266	45,777	75,044	1,053	76,097	△6,934	69,162
セグメント利益又は損失(△)	268	△140	127	10	137	—	137

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及びその他の事業(飲料の製造販売)を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。